


私が考える
「津別町の理想の未来」

目指す町づくり

- 星空の下で語り合える町
- 星好きが交流できかつ行き交う町

 町内外の語り合いたい人たち
ゆっくり落ち着いて観たい人

理想の将来像

- 星空観察が有名なスポットになる
- 津別峠のイメージが雲海だけでなく、愛林の展望台という場所のイメージがつく



津別町の取り組み

- 地域資源の価値を高める持続可能で戦略的な観光地域づくりの推進
 - ➡ ネイチャーセンターでツアーをやっている
 - ➡ 新しい取り組み



森林セラピーについて

- **科学的な証拠**に裏付けされた森林浴のこと

- 森を楽しみながら

こころと身体の**健康維持・増進**

病気の予防

を行うことを目指す

具体的な取り組み

- ラーメン屋台（西洋軒店主作） 団子屋など
- 自動販売機

（おしるこ、コンポタージュ ➡ つべつ産のトウモロコシ
➡ 高校で小豆を作る）

- ベンチ（山上木工作）
- バス（季節限定）
- 時間帯で区切る（雲海と星空）
- 広報する（YouTubeで生中継）

実現に向けて

やらないといけないこと

- 静かにする
- 町内外の人が見に行く

やってはいけないこと

- 雰囲気壊さない
- 騒がない
- 心霊スポットにしない
- 街灯を増やさない



看板を立てる

宣伝で興味を持ってもらう

看板を立てる

整備する

まとめ

- 理想の将来像

星空で有名になる

- 津別町の取り組み

森林を生かしたツアー

- 具体的な取り組み

星空観察スポットの整備

- 実現に向けて

みんなで宣伝しよう！

私が考える「津別町の理想の未来」

目指す町づくり

- ・ 熊など有害生物のハンティングをとおして外国人を集める町

対象者

- ・ 外国人と日本人のハンター
(アメリカ人、カナダ人)

理想の未来

- 狩猟好きな外国人が集まることで
にぎやかな町
- 日本人だと限界があるから違う場所から
どんどん新しい人を呼ぶ

具体的な取り組み

- ・ 特定の場所で熊用の仕掛けを作ってそこでハンティングをする
- ・ 銃を特定の使える場所でしか使わない
- ・ 銃の条例、法律を作る
- ・ 銃を置くための建物を用意する
- ・ 銃のことに詳しくて外国語のできる人
- ・ 今ある対策をそのまま使う
- ・ 外国人が見ているウェブサイトや広告などに載せる

津別町の取り組み状況

- ・ 政策4「産業・雇用」
- ・ 「強い農業・持続可能な農業に向けた基盤整備」に鳥獣対策として鹿柵の設置はあるが、クマに関する記載はない
- ・ 政策5「観光・交流」
- ・ 「インバウンド対応の推進」には外国人ハンターに関する記載はない

その実現に向けて一人ひとりが
やるべきことやってはいけないこと

やるべきこと

- ・外国人ハンターがいることを町民に知ってもらう
- ・知ってもらう方法(新聞、チラシ、回覧板)

やってはいけないこと

- ・外国人差別
- ・特に人種差別や外見だけで判断をしない

まとめ

- 10年後、20年後の津別町は狩猟好き外国人が集まって安全な町でにぎやかな町になると思います
- 5年後の自分はスポーツ系の勉強をしながら実際にハンターとして仕事をしている方とお話しをして知識を身につけたいと思います

自分が考える理想の津別

目指す理想の町づくり

- ・ モータースポーツが行われる町
- ・ 津別といえば愛林とモータースポーツの町
- ・ モータースポーツで地域おこし

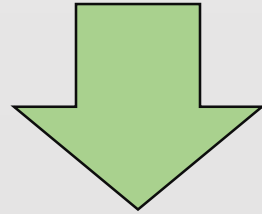
場所・土地

- 騒音などの公害対策で、人が近くに住んでない場所
- 土地の関係上ドイツ(ニュル)の様に山を切り開いて作りたい
- 森林伐採や環境破壊等が
- などが懸念される



世界で1・2番目のサーキットへ

- 現在ニュルブルクリンク(ドイツ)が世界一過酷なサーキットとして有名



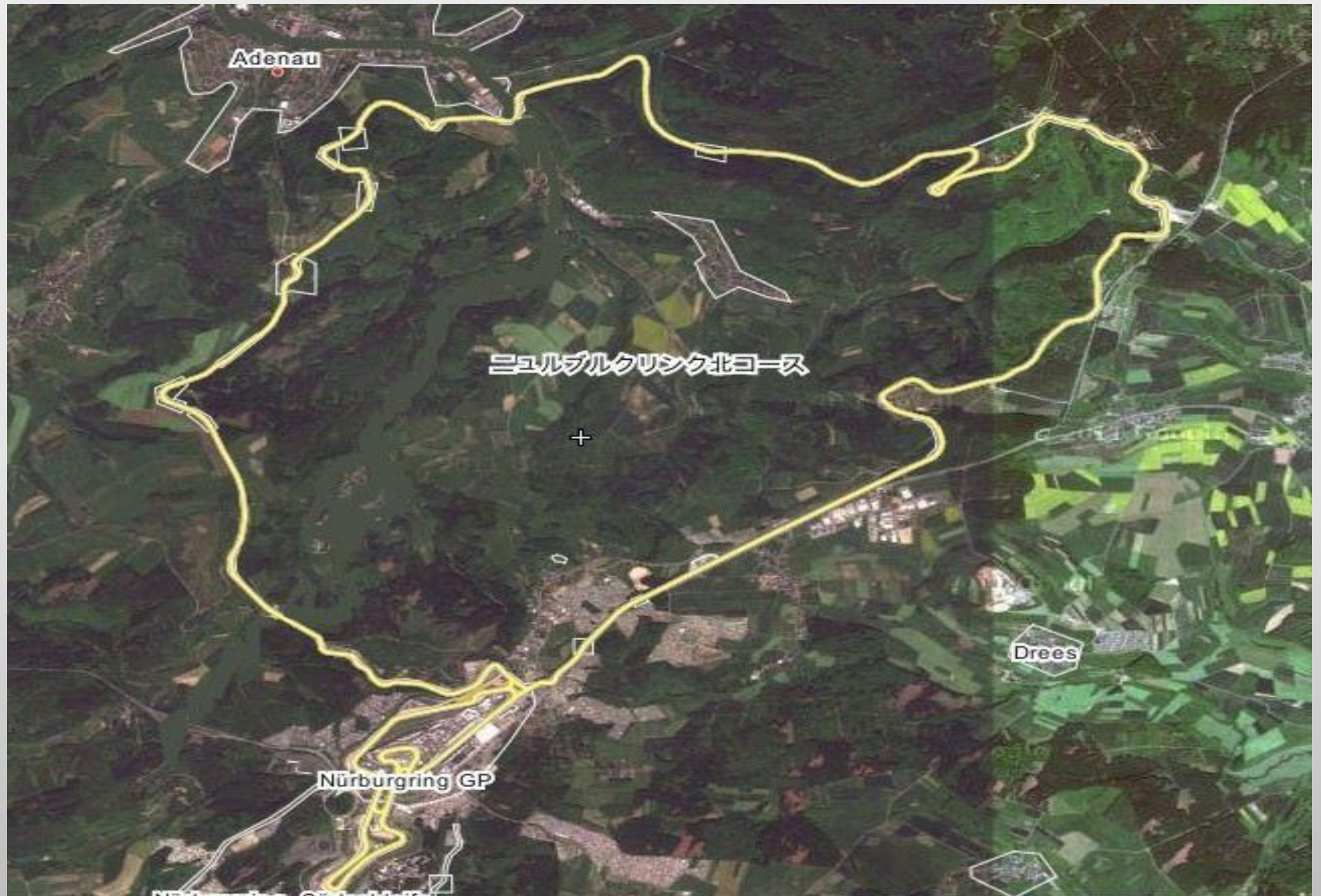
それに対抗できるサーキットを作り世界に通用するサーキットに
そして知名度UPや町の収入に

ドイツのサーキット

(例) ニュルブルクリンク 1927年～

- 山を切り開いて出来ている
- 超高速から超低速と多種多様なコーナー
- 全長20.831 k m、コーナーが172個もある。
- GPコースで5.1 k mで合計25 k m以上
- 先の見えないブラインドコーナーが多数
- 車によってはジャンプする箇所がある
- 路面が波打ち、ほこりっぽく滑る
- コース全体の平均スピードが高い
- 24時間耐久レースになるとGPコース(新設)含め25 k m以上走る





Adenau

ニュルブルクリンク北コース

+

Drees

Nürburgring GP

Nürburgring, Südschleife



日本のサーキットと比較



鈴鹿サーキット

- 全長5.807 k m
- 高低差40m
- コーナー数20

ニュルブルクリンク

- 全長20.832 k m (GP含め25 k m)
- 高低差300m
- コーナー数170以上

観光・交流など。



- ▶ 国際的なレースを開催⇒観客含め観光客が増加
- ▶ 一般開放日⇒走りに来る人も増える
 - ※津別町への関心が高まるのでは？
- 町の人と走りに来る人との交流もあるかもしれない。

サーキット経営で町の収入に



- ・ 国際レースなどを行い観覧するための入場料だったり、
- ・ レース以外にも走りに来た人の入場料で、運営費や町への収入になるのではないか。
- ・ 観光スポットになれば入場料などでも売り上げが見込める。
- ・ カーフェスティバルやイベントなどで収入を得る

国際レースの開催(例)

- ドイツでは年に1回
24時間耐久レースが行われる

- バイクであれば8時間耐久など、
多種多様な種類ができる。



モータースポーツ関係者の雇用

- 外国人労働者の雇用
- 建設時の雇用
- 完成後の整備スタッフとしての雇用

サーキット場建設費用



- 2 k mのコースで5億円が建設費用の目安
- 栃木県茂木町の[ツインリンクもてぎ]で600億円以上で一部予算オーバー(これはF1のトップチームの年間予算と同額)
- 他の場所の建設費用は不明

実現するにあたっての問題点

- 町民の説明と理解
- モータースポーツの理解
- 土地を使う際の町からへの許可

実現に向けて一人一人がやるべきこと

やってはいけないこと

- ・公道での危険走行
- ・車に悪いイメージを持たせてはいけない

やるべきこと

- ・町民の理解
- ・騒音被害(走る人)
- ・モータースポーツへの関心、理解など

まとめ

- 山を切り開くとなると森林破壊などの問題が出てくる。
- 大きなサーキットを作るには巨額な資金が必要で、その集金方法は定かではない。

北海道のモータースポーツが収縮している今がチャンス

誰もが安心して暮らせる町



理想の未来

- ・どんな人でも安心して暮らせる町
- ・交流が多い町



現状


- ・日本は約十人に一人がLGBT
- ・世界的に見ても日本は多い方
- ・認知度、理解度がともに低く、生きづらいつ感じている人が多数
- ・不当な扱いを受けることが多い



#EqualityActJapan

日本にもLGBT平等法を

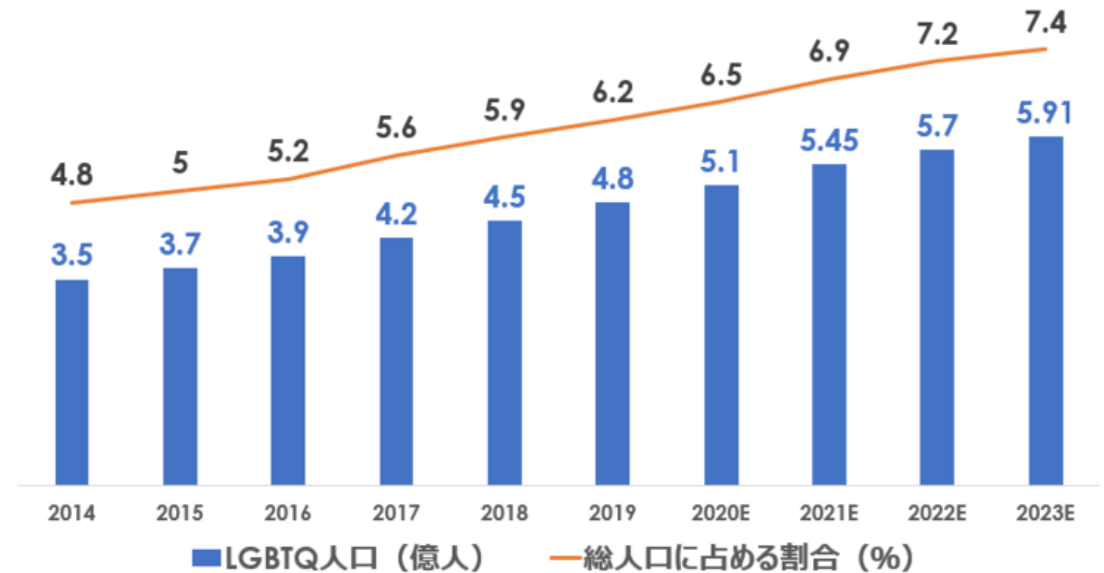
対象者

- 
- ・性的マイノリティ(LGBT)の方々
 - ・悩みを抱えている人

やるべきこと

- ・町民からの理解を得る
- ・お店を作る
- ・アピール
- ・ジェンダーレストイレ

世界におけるLGBTQ人口（2014-2023予測）



やっではいけないこと

- ・否定すること
- ・差別すること



まとめ

- 過ごしやすくする
- LGBTは大きな社会問題である
- ジェンダーレストイレ